



2023-2024 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：村田 均 ● 副会長：森田 拓巳、中島 雅幸 ● 幹事：豊島 和敏
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町 16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotdary@peach.plala.or.jp

第 2932 回例会 2024 年 1 月 31 日(水)

発行:会報・広報・雑誌委員会

点鐘：村田 均 会長

司会：日下 祥幸 国際奉仕・R 財団委員長

1. ゲストおよびビジター紹介 ～村田 会長

・ウトロ office albireo (ウイ アビレオ) 伊藤 彰浩様、かおり様 ご夫妻

2. ロータリーソング ～四つのテスト

3. 会長の時間 ～村田 会長

こんにちは、今日、幹事が欠席で下山副幹事が代行いたします。また、SAA も欠席で超ベテランの日下会員にお願いしました。

昨日、免許更新で警察に行きまして来ました。簡単に終わると思っていましたが、視力検査で落ちました。メガネを作って再度来て下さいと言われ、さっそく中島会員の店に行きまして検査してもらいましたら、病的なものがないかどうか眼科で調べてもらった方がよいとのことでしたので、明日にでも行こうかと思ひます。

これまでは感じなかったのですが、免許が無くなると大変不便になると思ひます。皆さんも、眼は酷使しないで大切にして下さい。



4. 幹事報告 ～なし

5. 委員会、その他の報告 ～村田 会長

- ・藤田 (典) 奉仕プロジェクト委員長～2 月の家庭集会の件ですが、皆さまには FAX でご案内が届いていると思ひますが、JR で飲みながら緑の温泉に行き、帰りも JR で飲みながら帰って来るという内容ですが、これは親睦委員会の企画でして今回の家庭集會に利用させていただきました。今のところ 6 名の参加となっておりますが、まだ受け付けておりますので希望者は私までご連絡下さい。
- ・木村 会員～知床ユネスコ協会からのお願いです。皆さん、書き損じのハガキ、未使用の切手、プリペイドカードなどありましたらご寄付ください。現金も大歓迎です。よろしくお願ひいたします。

6. 本日のプログラム ～村田 会長

◆ゲスト卓話

◆高木 会員～皆さん、こんにちは、今日卓話をしていただく伊藤様ご夫妻をご紹介します。

ご主人の伊藤 彰浩様は、1964 年生まれ、東京出身、千葉工業大学工学部卒、精密機械メーカーの技師でしたが、現在は動物写真家として知床と動物の写真を楽しみながら撮っています。



奥様の伊藤 かおり様は、1975 年生まれ、神奈川県出身、甲南大学理学部卒、現在はご主人のアシスタント兼マネージャーでウトロで「アルビレオ」というコーヒーショップを経営しています。

お二人共「日本自然科学写真協会」の会員ということで、5 年前に移住され写真を通して知床を楽しんでいらっしゃるということで今日は卓話をお願いしました。よろしくお願いいたします。

◆伊藤 彰浩 様

今日は、お招きにあずかりまして有難うございます。

今日は「自然と人」と題してお話させていただきたいと思っています。

まず、知床の自然って世の中からも良く評価されていて、当たり前のように「良い場所」だとか「豊かな場所」だよとか言われていると思うのですが、知床半島の豊かな生態系というのは、とにかく珍しいという部分においては、人間の生活のすぐ傍にそれがあろうことは世界中で見ても非常に貴重なことだと思います。

そこには、ヒグマが存在して良くも悪くも人間の生活に大きな影響を与えているのも一つの特徴なのかなと思います。

ただ、ヒグマに対して、あるいは自然に対してということを考えて時に、接し方が畏怖の念を持って接している、そして気軽に入ることをしてない、森を壊すことをしないということは、やはり非常に大事なことで、同じようなことを言える場所というのは、日本の中では、沖縄の「ヤンバルの森」がそうなんですけども、そこにはクマではなくてハブがいます。だから森に入るのを躊躇するんですね。そういう場所ってやはり豊かな自然が守られていて、それを大事にしていると感じています。

そういう厳しい自然という反面、知床は僕にとってすごく優しい側面というのが感じられていて、それは実は子どもの頃からの趣味で、星を見るのが大好きなんです。星を観測するに当たって、知床という場所は国内で屈指の良い空の場所だと思っています。それはやはり半島という地形があって、半島の横断道路の向こうには全く明かりが無い、あるとしても船の漁火くらいということで、それ位「空がある」、それから地形的に風が吹き抜ける場所なので空気中のホコリやチリなどが無い、それからオホーツク海側の場所だからだと思うんですけど、晴天の時には乾いた空気があってそこに素晴らしい星空が広がっている、これは本当に私にとってすごく「癒し」として楽しめる場所になっております。

とにかく、「空のきれいさ」ということにおいては、夏の昼間、普段半袖で歩いていると日差しが痛いくらいで、本州で言えば北アルプスの高山にいる時と変わらない位日差しを感じます。そういう空も守られたということは、ヒグマも守っていてくれるのかな、森を開発せず皆さんが守り続けて下さったお蔭なのかな、と思っています。

それから、「人」の話ということなんですが、斜里町という所は外から来る人にとっても包容力があると感じています。それは、観光業などで外から来る人が結構多かったり、そういうこともあると思うんですけど、ほかに漁業や農業でも集まって来る所だと思います。そういうところで知床の魅力に魅かれて移り住んだ方もいっぱいいると思います。

それで、受け入れて下さる斜里町の町民の皆さんに感謝です。僕も人のつながりでこの斜里町に来ましたが、今回こにお招きいただいたことも「縁」だと思っています。

外から来た者が見た時に、斜里町の産業と暮らしを眺めてみた時に、第一次産業から第三次産業までバランスよくある町だなと感じています。唯一機械製の製造業とかエレクトロニクス関係の産業がちょっと足りないなという程度で、逆に言うとこれは IT 産業なんかは物の移動が伴わないのでその負の部分無しにしてこの町に展開出来ればすごく有利かなと思ったりしています。

産業の成長と人口の減少は表裏一体みたいなところがあると思うんですけど、新しい産業をこの町に誘致するという事はすごく良い事でもありますし、必須の課題でもあると思います。

先ほども申し上げたように、この町に魅力があれば人を呼ぶことが出来るのではないかと感じています。最後になりますけども、知床斜里町の魅力というところなんですが、これは「人と自然の関わり」から生まれるものではないかと私は感じています。

サケをはじめとした漁業とか農産物であったりそれを加工する加工品であったりとかホテルとかガイドさんとかサービスなどこういったものも自然と人間が関わり合って生まれていると思いますね。

自然との付き合い方、向き合い方そのものが斜里の魅力なのかもしれないと感じています。



◆伊藤 かおり 様

東京に親子三代住んで初めて「江戸っ子」と呼ばれると聞いたことがあります、伊藤は親子三代同じ土地に暮らしていた完全な「江戸っ子」なんです。

私は、長年東京から離れたことが無くて、いきなり「斜里に行きたい」と言われた時に、ちょっとどうしようかなと思った時がありました。

今年、伊藤は「還暦」を迎えるんですけど、斜里に家を建てたんです。一生ここにいるつもりなんだと覚悟してこちらに来させていただきました。

先ほど話がありましたように、斜里町には比較的たくさんのヒグマがウトロの方に生息する場所がありまして、今私どもが暮らしている場所の近くにもヒグマがいるから気を付けてと高木さんからお聞きしてクマ対策も一生やり続けなきゃいけないし、あとストーブが薪ストーブなので薪も準備しなきゃいけないと、まさに自然と皆さんと一緒に暮らしていければいいなと思いますのでよろしくお願いいたします。



7. ニコニコ B O X ～富樫 親睦活動委員長

- ・奥様誕生祝～藤田（典）会員

8. 出席報告 ～森田 クラブ管理運営委員長

- 本日出席～29名中 17名出席（出席率：58.62%）

☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は 2/7（水）第 2933 回例会 ゲスト卓話
知床財団理事長 村田良介 氏



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

斜里 RC 会長のテーマ

ロータリーを楽しみながら、
人間力を養おう！